從テ右十五名ハ之ニ依リ得タル賃銀ノ低落ヲ見込
ナルカ如シ故ニ一般平工ハ何等不穏ノ形勢ヲ見ス何等ノ意
動ナシ

三、信用組合ノ提出セル七十五名ハ何レモ共濟部
トシテ各種ノ運動ニ從事シ其ノ名モ右ニテ力本山支部
ノ如キハ殆ト消滅ニ帰セル状態ニ至レリ從テ此ノ輩ノ脱
會ノ二十五名ヲ割テ同支部ハ同派ニ現存セル文
部費ノ餘殘金五十六圓五十錢ハ信用組合社員ニ
於テ之ヲ担当支出スルモノアリ從テ今後如何ノ意味ナルヤ
各自金七十錢ヅツヲ拠出シ第二會宴ヲ催シタルヤノ
状況ナリ

四、二十三日在東京労働組合同盟本部ヨリ池田源四
郎當二十四歳來山本山ノ状況ヲ視察シ池田ハ廿四日午

前十一時發ノ通洞驛發列車ニテ歸京セリ
ノ滞在中池田ハ從來本山支部ノ形勢ヲ語リ
後近一般ト合流セル經過ヲ聽取シ之レ迄組合ノ解散
ノ原因ハ實ニ意外ナルモノトセルモ之ヲ要スルニ方針ヲ誤リ
ヲ覚ル者既ニ其ノ分子ノ参加ヲ要ス同志ノ結束ヲ欠爲
ヲ通ルモノトシテ相互ニ不穏ノ言動ナク萬事ニ
當滞在中ニシテ此際ハ從來ノ如クニテ脱退者ハ會長
始メ各支人影響大ナルニ鑑ミ依頼支部解散ノ件ハ
不可ナリトシテ形勢ヲ監視シ後事ヲ託シテ去レリ

財團法人 協調會